

2 有機農業に関する取組

地域特性に適応した有機農業生産技術体系

●水稲有機栽培における多年生雑草も除草可能な機械除草体系(130202)

●水稲有機栽培の低コスト初期導入技術としてのチェーン除草(130203)

●ダイコン残渣によるバイオフェューミゲーションを取り入れたホウレンソウのハウス栽培(130211)

●東海地域における甘長ピーマンの有機栽培法(130213)

●近畿地域における伏見とうがらし有機栽培法(130214)

●有機JAS適合技術によるジャガイモ有機栽培体系(130210)

●ホウレンソウ萎凋(いちょう)病に対するカラシナすき込みによる環境に優しい土壤消毒技術(130212)

●北部九州における水稲の有機栽培技術体系(130207)

●有機栽培タマネギの地床育苗における陽熱消毒による雑草防除(130215)

慣行栽培より生産費2～3割高に抑制した有機農業の生産技術体系

↓
「有機農業 実践の手引き」の発行

↑
病虫害や雑草抑制、作物養分供給機構等の科学的解明

先進有機農業技術の科学的解明

●畦畔板によるイネミズゾウムシの防除法(130205)

●カンキツ有機栽培実践園において問題となる病虫害の種類と抑制技術(130219)

●有機栽培圃場における植物共生微生物の特性(130218)

●土壌のケイ酸供給力に基づいた斑点米被害抑制技術(130206)

●麦有機栽培の雑草発生の特徴と雑草量低減技術(130209)

●アミドロの遮光により雑草の生育が抑えられます 湛水の長期化により水稲収量が増加します(130204)

●有機栽培イネに特徴的な内生細菌及び有機栽培育苗土の病害抑制機能の評価(130208)

●有機栽培コマツナの品質を高める栽培法(130216)

●糖・有機酸・アミノ酸の網羅的解析により窒素肥料や堆肥の施用がコマツナの成分に与える影響を解明(130217)